

2021年度 自己評価・学校関係者評価・第三者評価報告書

自令和3年4月1日 至令和4年3月31日

学) そだちの園 さかのうえようちえん

1. 本園の教育目標

- 1) 健全な心身の発達を促す
- 2) 自立した生活習慣を身につける
- 3) 感謝の心を養う
- 4) 思いやりのある人に
- 5) 最後まで頑張る

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- 1) 発達段階に即した保育を実践し、保護者の理解を得ること
- 2) 研修等による教職員の資質向上を目指すこと
- 3) 資質向上に十分なリソースを割ける組織を目指すこと

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	発達段階に即した保育を実践し、保護者の理解を得ること	B	保育活動の充実が、行事や参観など、保護者の評価にもつながる形態に近づいた。
2	研修等による教職員の資質向上を目指すこと	B	園内での研修を徐々に実施できた。
3	資質向上に十分なリソースを割ける組織を目指すこと	A	組織体制を見直し、役割分担を明確にすることで、徐々に組織環境が改善した。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	保育の内容は徐々に見直されつつあり、園児の成長が実感できる機会が多くなった。ただし、教員による資質の差が否めないため、指導の機会を増やしていく必要がある。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	活動の精査	園内で取り上げる活動を精査し、園児の成長に最大限、寄与することを目指す。
2	月案の徹底	どのクラスでも同じ質の保育を受けられる幼稚園を目指す。
3	指導体制の確立	教職員の資質を向上するために、指導体制を確立することを目指す。

6.学校関係者の評価

依然として新型コロナウイルスの感染対策が必要とされる中、保育内容の向上を着実に進めていることを評価したい。アフターコロナを見据えた年間計画の再検討、そして、教職員の資質向上にかかる取り組みに期待したい。

評議員 高橋 徹

保育内容の改善が目に見えてきたと感じる。これからは、教職員の負担軽減と、保育の充実の両立に挑戦してもらいたい。

卒園児保護者 佐藤 暢子

7.第三者の評価

園児主体の活動が定着してきたことを感じる。今後は、保護者にも園の活動を理解してもらい取り組みや、教職員の資質向上が重要となる。園内研修や、指導体制の確立は効果的と考えるので、積極的に推進されることを期待する。

千里敬愛幼稚園 園長 小谷 隆真